

# 岩手県感染症週報

平成17年第47週（11月21日～11月27日）

岩手県結核 感染症情報センター

## 第47週の概要

1 類感染症

2 類感染症

3 類感染症

・患者発生の報告はありませんでした。

4 類感染症

・患者発生の報告はありませんでした。

5 類感染症（全数把握対象疾患）

・クロイツフェルト・ヤコブ病の患者の報告が1例ありました。患者は60歳代の男性で孤発性の発症です。

5 類感染症（定点把握対象疾患）

・インフルエンザは、11月上旬から盛岡地区を中心に患者が発生しており、同地区では前週に引き続き患者数の増加が続いています。県環境保健研究センターの病原体検査では、今シーズン初めてA香港型インフルエンザウイルスが分離検出され、11/29には、同地区で今シーズン3校目となる同疾患による学級閉鎖措置がとられました。また、県内各地区でも患者が発生し始めており、この週には水沢、一関、宮古、二戸地区からも患者発生の報告がありました。全国的にも本県と同時期に患者が発生しており、東北地方では山形県で患者数が多くなっています。外出から帰ったら「手洗い」と「うがい」の習慣をつけ、インフルエンザ感染の予防に努めることが大切です。

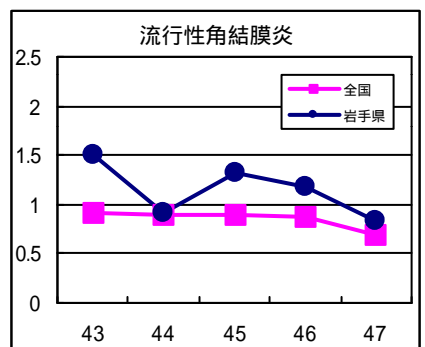
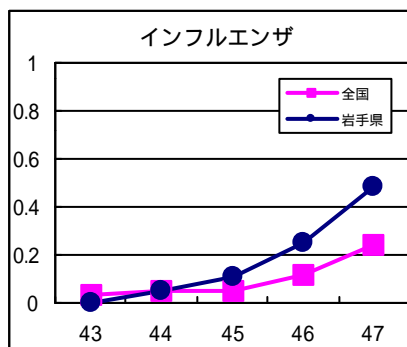
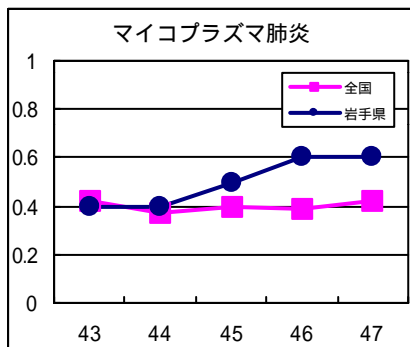
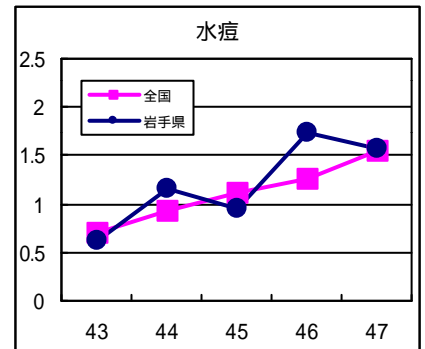
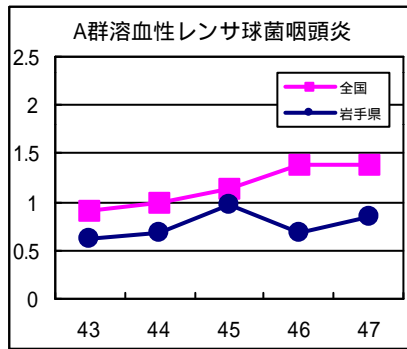
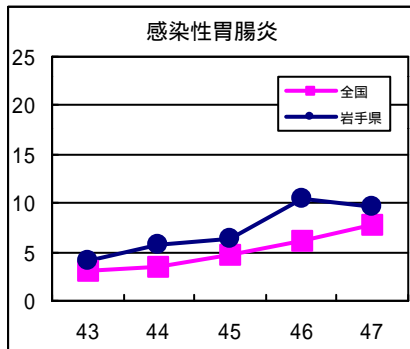
・感染性胃腸炎は、前週に患者が多かった盛岡、北上地区で患者数が減少し、県全体ではやや減少しましたが、これまで患者が少なかった沿岸地区をはじめ、その他の地区でも患者が増加しています。

・水痘は、前週に患者が多かった久慈地区はこの週には減少しました。この週にもっとも患者が多いのは花巻地区です。

・溶レン菌咽頭炎は、例年、年末頃に流行のピークを迎えます。11月中旬より徐々に患者数が増えってきました。

## 最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

（疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意）



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向	
		43	44	45	46	47		
インフルエンザ	岩手県	0	0.05	0.11	0.25	0.48	↗	
	全国	0.03	0.05	0.05	0.12	0.24		
咽頭結膜熱	岩手県	0	0	0.05	0	0.05	→	
	全国	0.18	0.18	0.23	0.23	0.27		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	0.63	0.68	0.97	0.69	0.85	→	
	全国	0.9	1	1.14	1.39	1.38		
感染性胃腸炎	岩手県	4	5.76	6.36	10.49	9.67	→	
	全国	3.14	3.54	4.66	6.13	7.87		
水痘	岩手県	0.63	1.16	0.95	1.74	1.56	→	
	全国	0.7	0.92	1.12	1.26	1.55		
手足口病	岩手県	0.21	0.47	0.41	0.33	0.41	→	
	全国	0.4	0.35	0.32	0.31	0.27		
伝染性紅斑	岩手県	0.11	0.08	0.05	0.1	0.08	→	
	全国	0.13	0.15	0.15	0.14	0.17		
突発性発疹	岩手県	0.26	0.29	0.38	0.38	0.41	→	
	全国	0.65	0.62	0.64	0.63	0.65		
百日咳	岩手県	0	0	0.03	0.03	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01		
風疹	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0		
ヘルパンギーナ	岩手県	0.45	0.18	0.33	0.36	0.28	↘	
	全国	0.18	0.14	0.13	0.11	0.1		
麻疹（成人麻疹を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0		
流行性耳下腺炎	岩手県	0.39	0.29	0.59	0.74	0.46	→	
	全国	1.15	1.18	1.34	1.3	1.31		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.03	0.02	0.01	0.02		
流行性角結膜炎	岩手県	1.5	0.92	1.33	1.17	0.83	→	
	全国	0.92	0.9	0.9	0.88	0.69		
RSウイルス感染症（患者報告数）	岩手県	0	0	0	1	0	→	
	全国	412	444			0		
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.04	0.01	0		
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0.05	0	0	→	
	全国	0.03	0.03	0.02	0.03	0.02		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.4	0.4	0.5	0.6	0.6	→	
	全国	0.42	0.37	0.4	0.39	0.42		
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.02	0.01	0.01		
成人麻疹	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0		

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- : 患者が発生しています
- : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- : 多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患（過去5週の動き）		（患者発生数）							
分類	疾病名	岩手県					全国		
		(週) 43	44	45	46	47	累計	47	累計
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類 感染症	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	47
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	2	11	522
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	2	47
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	16
	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	0	0	0	83	30	3447
四、 五類 感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	2	4	630
	エキノкокクス症	0	0	0	0	0	0	0	15
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	1	0	32
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	急性ウイルス性肝炎	0	0	0	0	0	3	2	258
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	8
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	9
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	1	4	2	140
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	1	0	51
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	4	9	1041
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	3
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	1	74
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	10
	先天性風疹症候群	0	0	0	0	0	0	0	1
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ツツガムシ病	0	1	0	0	0	7	22	189
	デング熱	0	0	0	0	0	0	1	70
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	61
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	6
	乳児ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	0	0	0	0	0	3	7	484
	破傷風	0	0	0	0	0	1	0	101
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	1	61
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	1
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	マラリア	0	0	0	0	0	0	0	63
	ライム病	0	0	0	0	0	0	0	8
	レジオネラ症	0	0	0	0	0	1	5	251
ウエストナイル熱	0	0	0	0	0	0	0	0	

昨年11月5日に感染症法が改正されたことに伴い、調査対象疾患が一部改正されましたが、本週報では当面の間、改正前の分類による情報をお届けしております。  
できるだけ早い時期に、新しい分類による情報をお届けするよう準備していますので、ご了承ください。

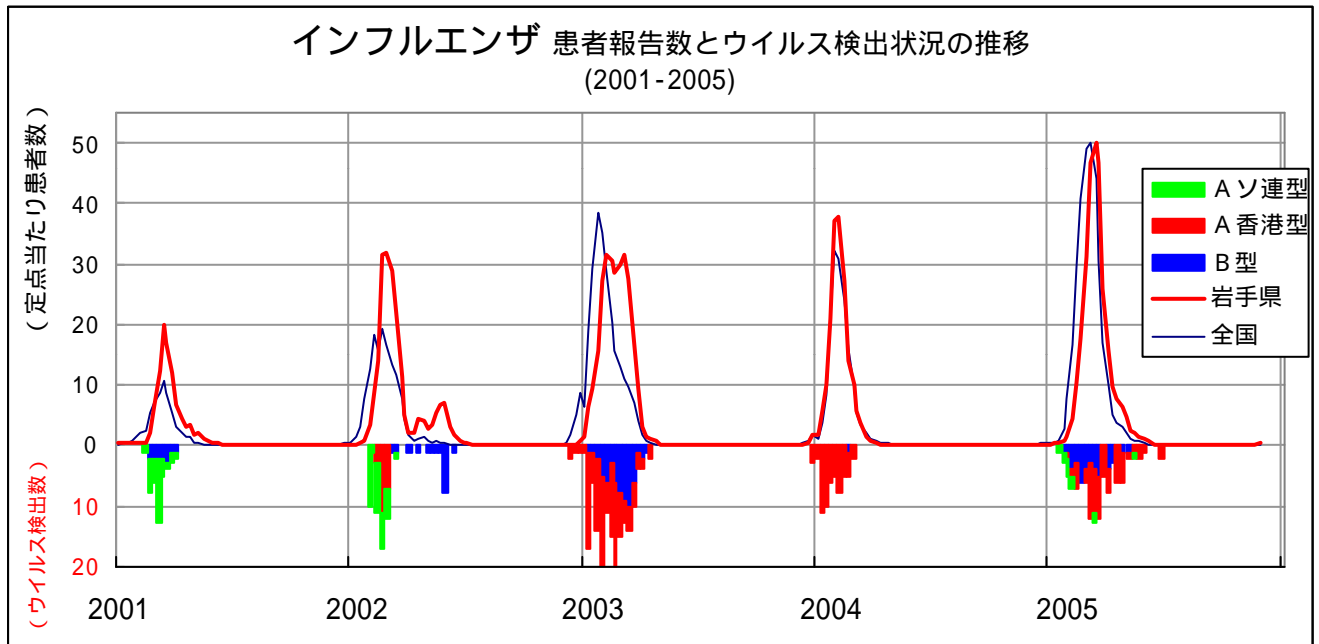
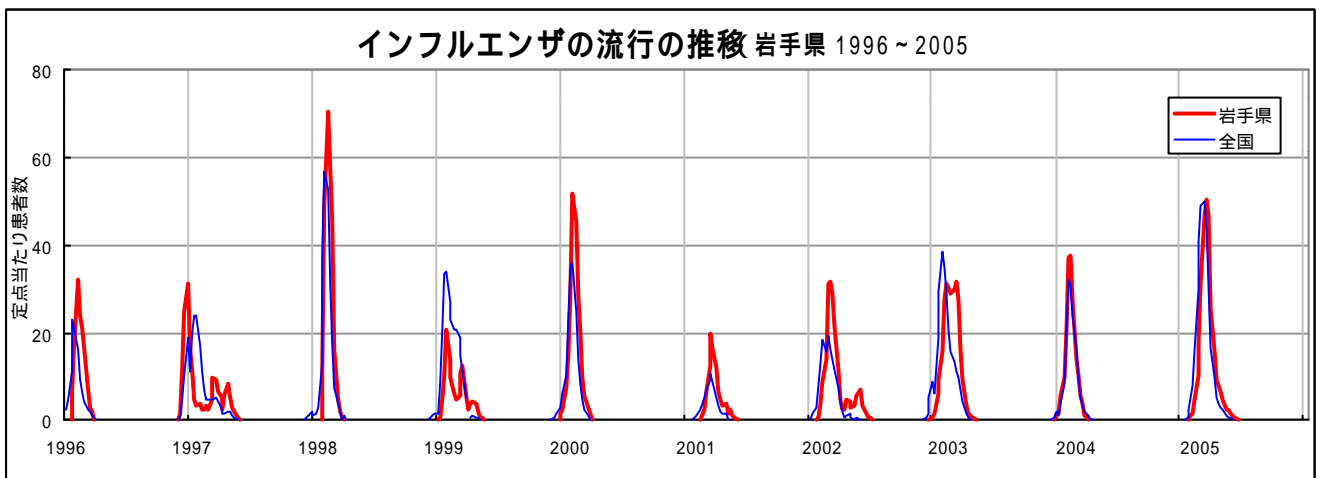
**今注目の感染症**

**インフルエンザ**

インフルエンザは、例年、12月頃から患者数が増え始め、2～3月が流行のピークであるが、今シーズンは、盛岡地区では、11月に集団感染による学校閉鎖措置がとられた小学校もあり、例年よりも早い流行状況となっている。

今後の流行状況はまだ不明であるが、65歳以上の高齢者の方や気管支喘息や慢性心不全などの基礎疾患のある方、1歳以上の幼児などは早めに予防接種を受けることが大切である。

昨シーズンは、A香港型、Aソ連型、B型の3種類のインフルエンザウイルスが同時に流行したが、今シーズンのウイルスの動向が注目される。



## 病原体検出情報

- ・溶レン菌咽頭炎の患者の咽頭拭い液からA群溶レン菌血清型T28を1例分離検出しました。
- ・感染性胃腸炎の患者の糞便からノロウイルス遺伝子型IIを8例、コクサッキーウイルスA群16型を1例、アデノウイルス2型を1例、分離検出しました。
- ・流行性角結膜炎の患者の結膜拭い液からアデノウイルス37型を1例分離検出しました。
- ・インフルエンザの患者の咽頭拭い液からA香港型インフルエンザウイルスを7例分離検出しました。

## 医療機関からの情報

- 盛岡地区の医療機関（小児科）から
- ・インフルエンザが保育園、小学校、中学校で発生している。
- 大船渡地区の医療機関（小児科）から
- ・マイコプラズマ肺炎の患者が4例発生した。

## 集団感染情報

インフルエンザ様疾患による学校閉鎖措置状況

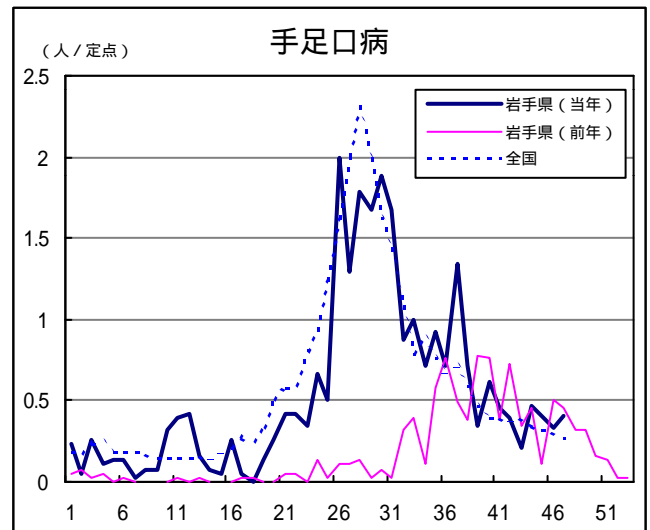
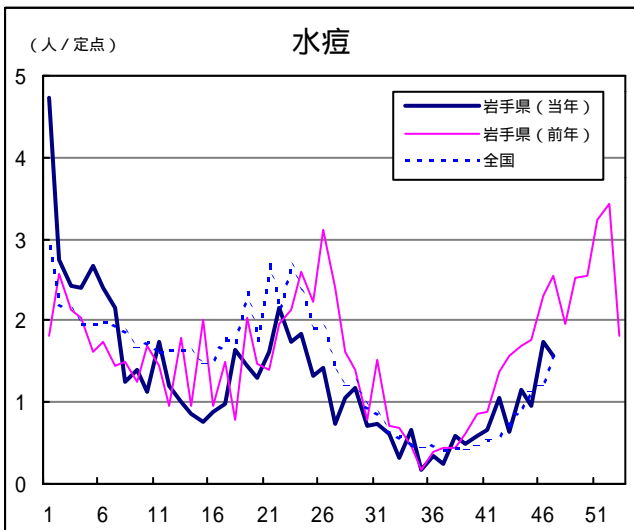
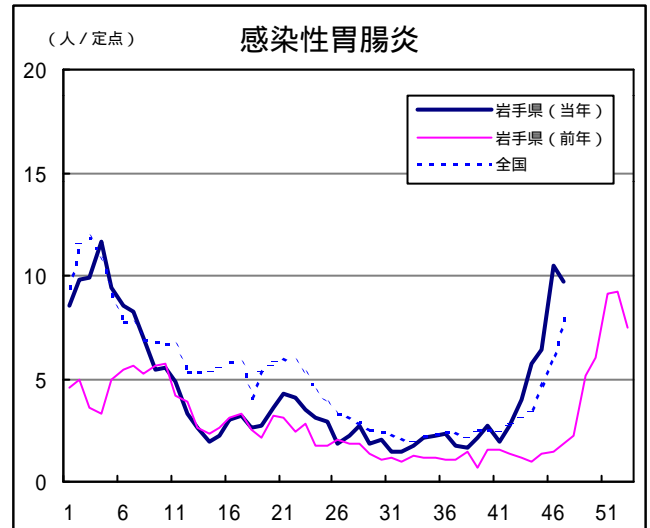
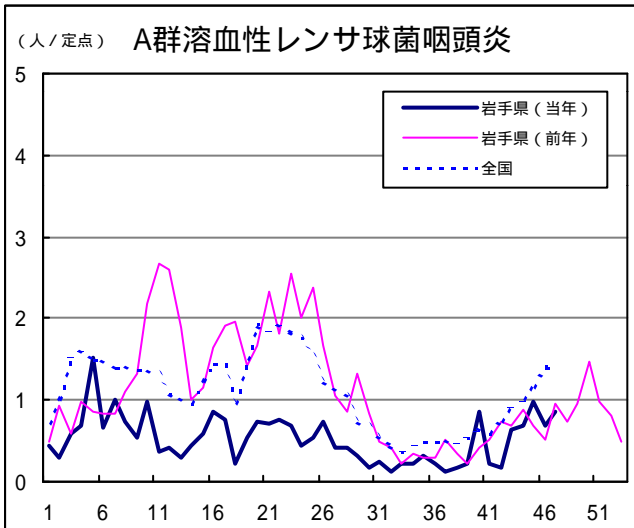
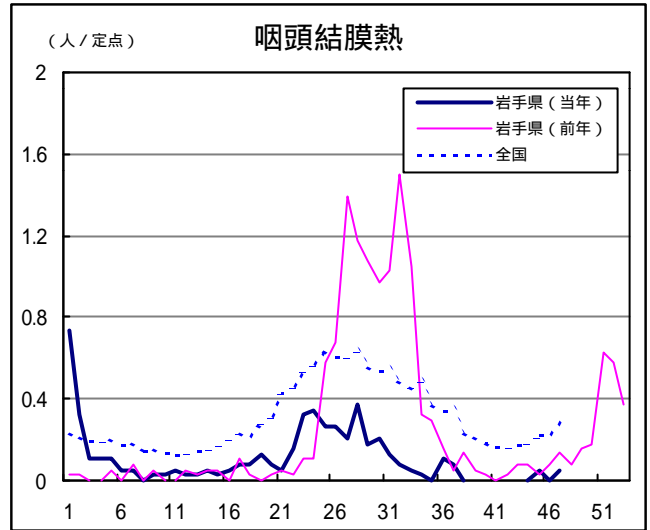
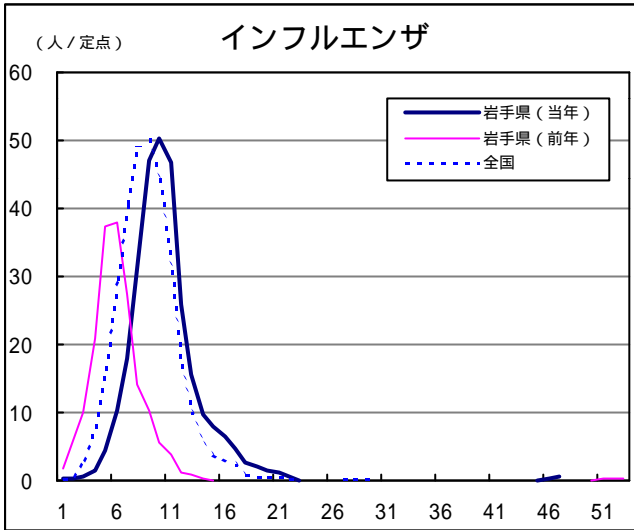
- ・雫石町立七ツ森小学校4学年 在籍数19名 罹患者数17名 うち欠席者数11名  
11/28,29 午前授業

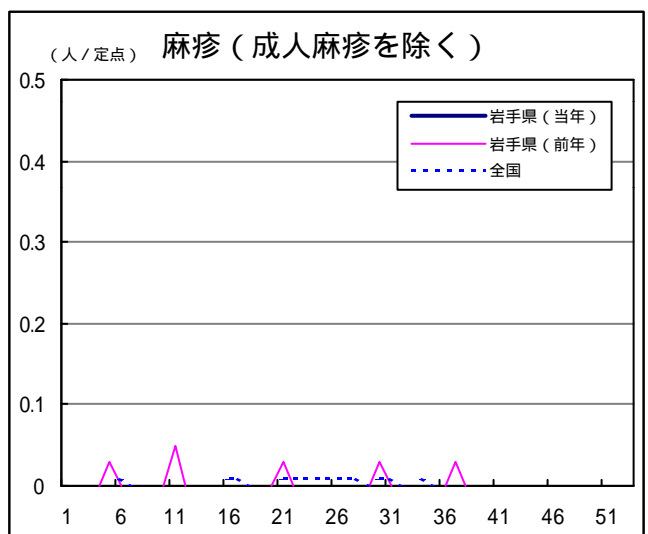
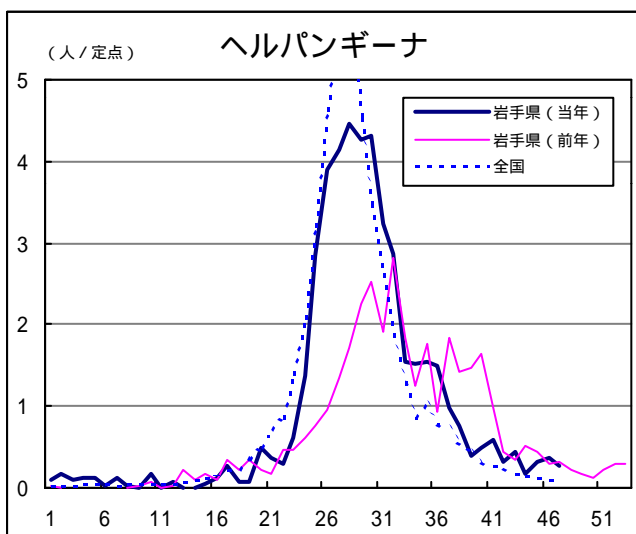
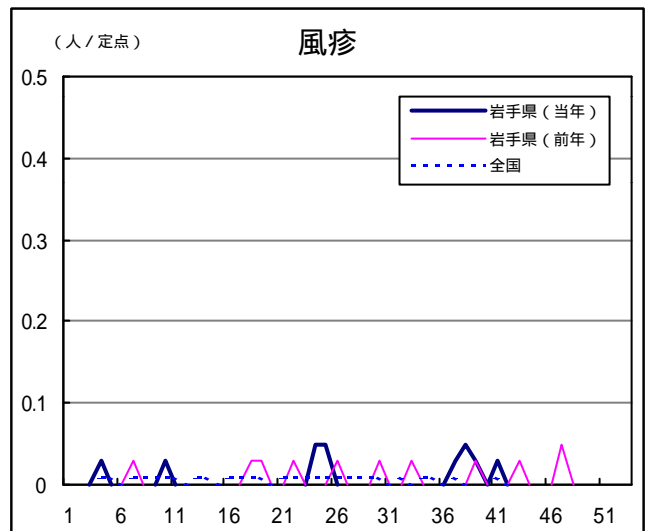
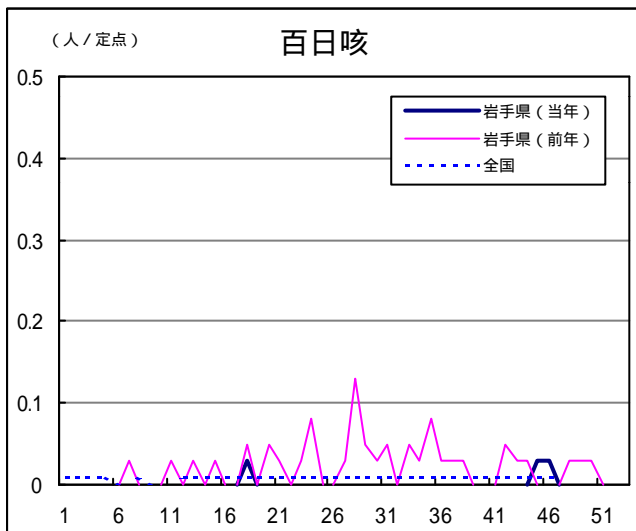
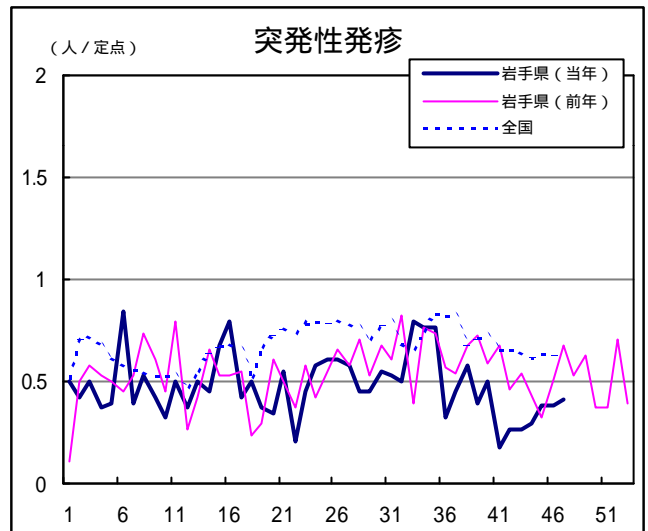
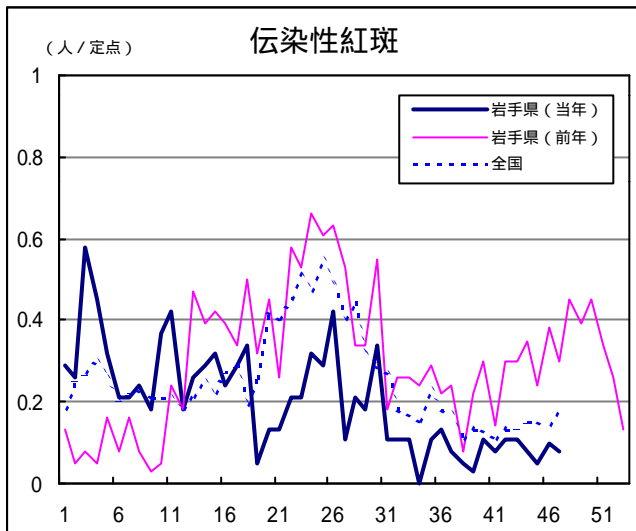
## Q & A

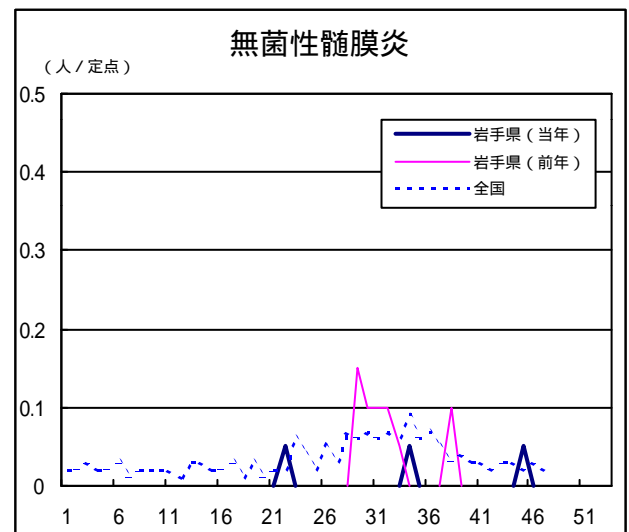
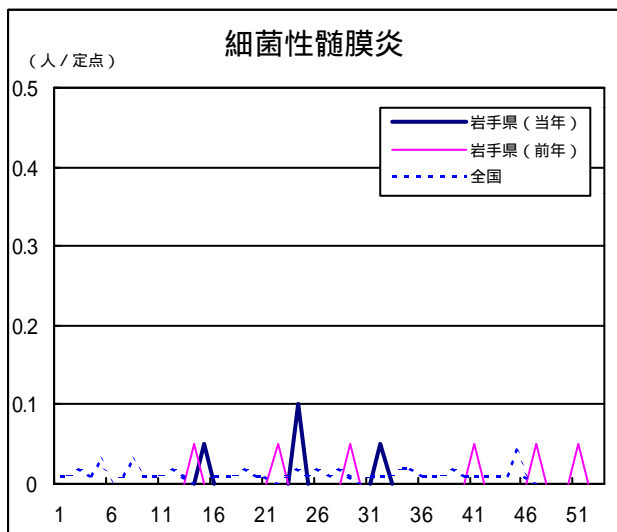
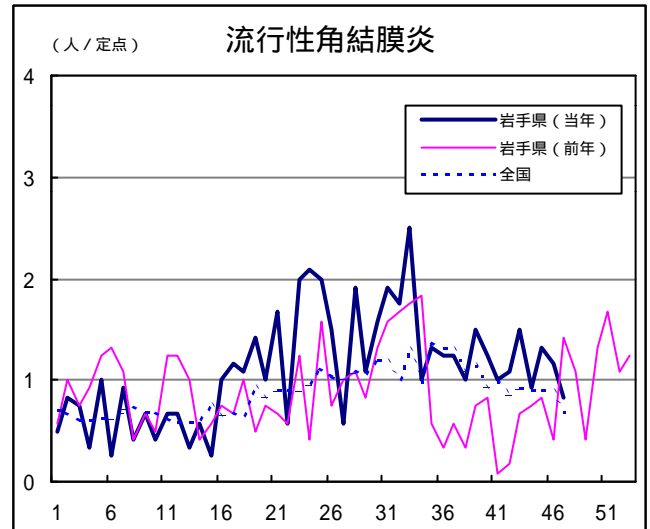
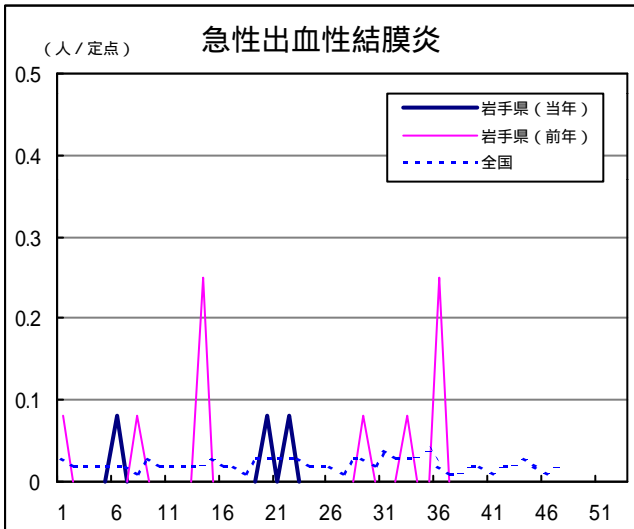
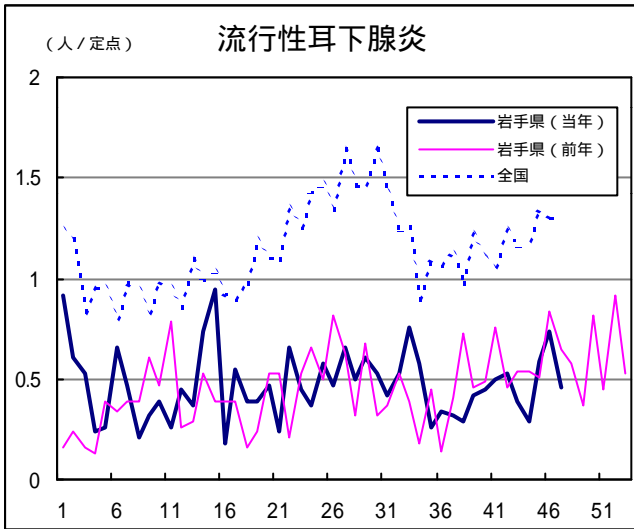
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。  
岩手県結核・感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）  
〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1  
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667  
E-mail:CC0019@pref.iwate.jp

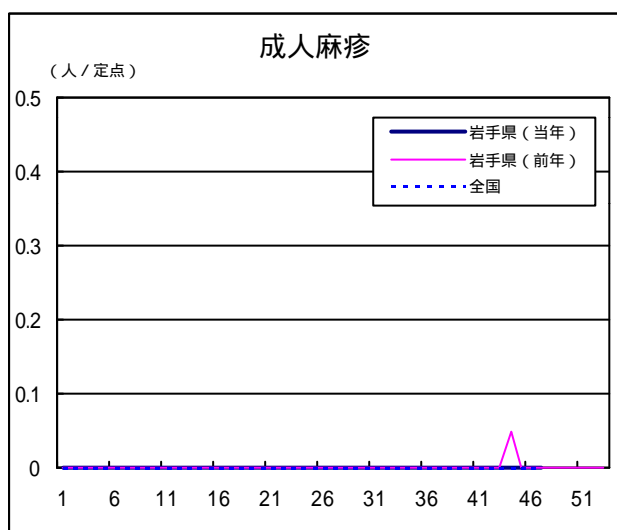
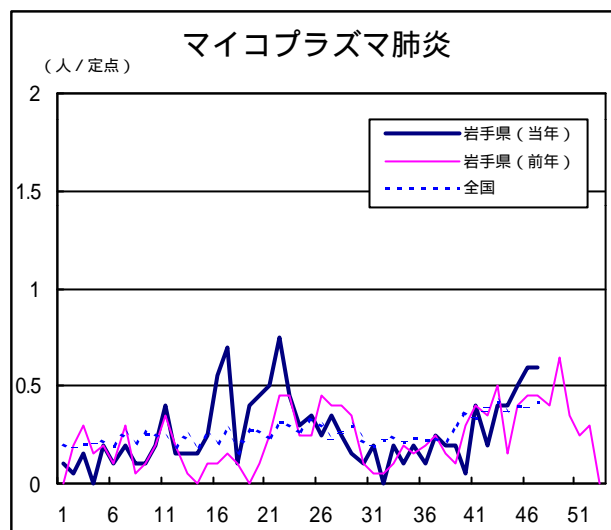
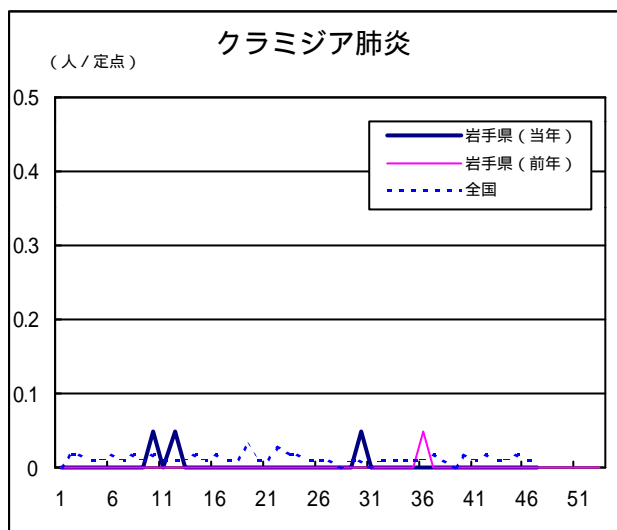
疾病別グラフ（定点あたり患者数の推移）











定点医療機関の数

地区	インフルエンザ	小児科定点	眼科定点	基幹定点
岩手県	63	39	12	20
盛岡	17	11	3	5
花巻	5	3	1	2
北上	5	3	1	2
水沢	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	6	4	1	1
釜石	5	3	1	2
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする  
**「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」**を配信しています。  
 配信の登録は以下のURLからお願いします。  
<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成17年第47週 平成17年12月2日発行  
 監修：岩手県結核・感染症発生動向調査委員会  
 発行：岩手県環境保健研究センター  
 岩手県保健福祉部保健衛生課  
 事務局：岩手県結核・感染症情報センター  
 （岩手県環境保健研究センター保健科学部内）  
 〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1  
 TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667  
 E-mail: CC0019@pref.iwate.jp  
 URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>  
 <岩手県結核・感染症情報センター>  
<http://www.pref.iwate.jp/~hp0360/>  
 <岩手県保健福祉部保健衛生課>